

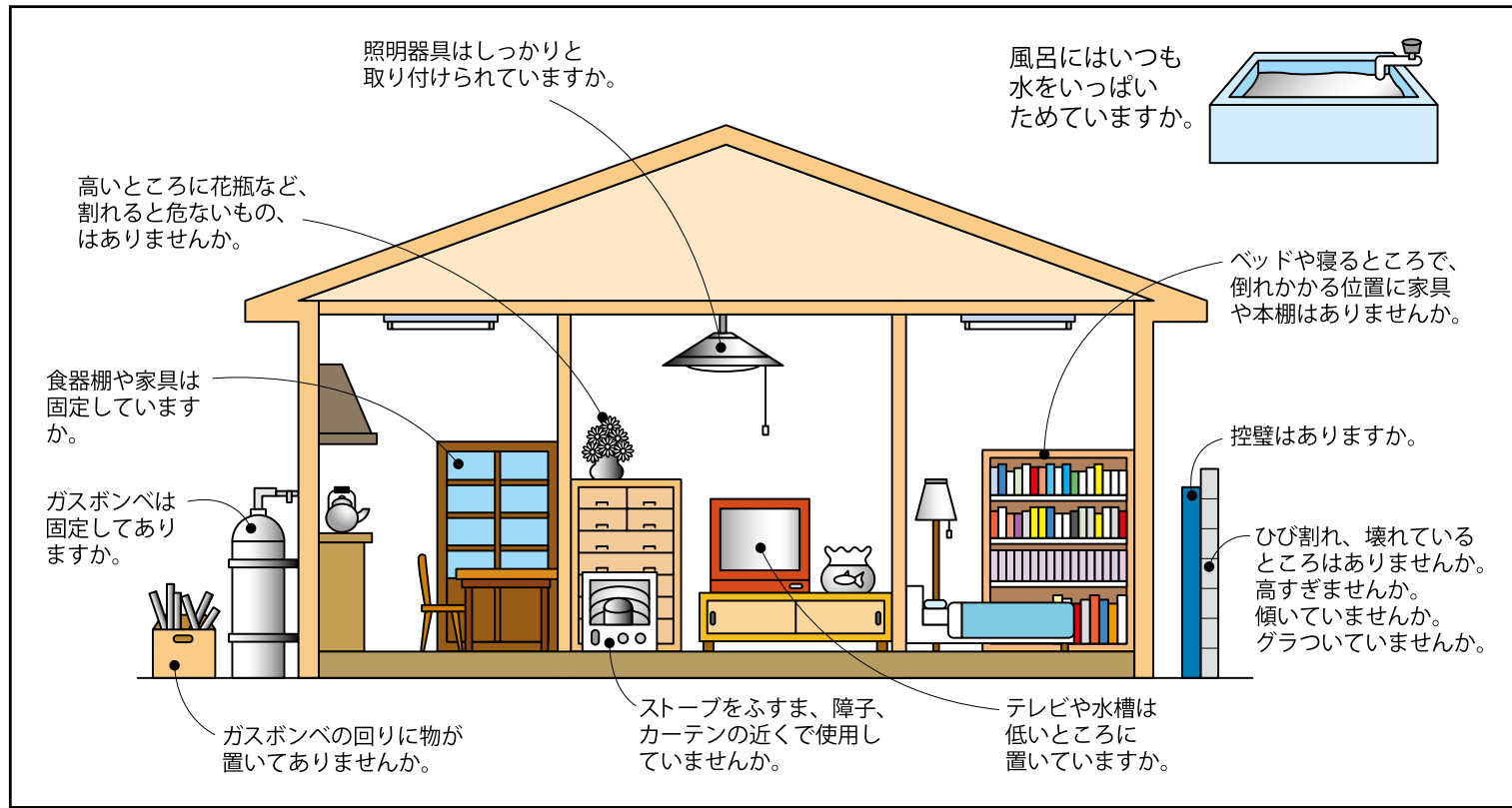
災害に備えて

日頃から備える！

1次持出品	① 水・食糧…飲料水（水筒）、カンパン・缶詰など調理せずに食べられるもの ② 生活用品…懐中電灯、ラジオ、電池、ローソク、マッチ、ライター、ナイフ、缶切り、タオル、ちり紙、石鹸、毛布・寝袋など ③ 衣類…セーター、ジャンパー、下着1〜2枚、靴下、軍手など ④ 貴重品…現金、預金通帳、印鑑、証書類など ⑤ 救急医薬品…消毒薬、傷薬、脱脂綿、包帯、ガーゼ、絆創膏、ハサミ、家庭常備薬など ⑥ その他…防災ずきん・ヘルメット、厚手のゴム手袋
2次持出品	① 水・食糧…飲料水・生活用水（ポリ容器）、米・インスタント食品・レトルト食品など簡単な調理で食べられるもの ② 生活用品…食器、洗面具、防水ビニールシート、ロープ、パケツ、卓上コンロ（ガスボンベ）・固形燃料、携帯用トイレなど
その他	赤ちゃんがいる場合は、粉ミルク、は乳瓶、紙おむつなど。お年寄りなど要介助者がいる場合は、たんか、看護用品、常備薬、おむつなども用意しましょう。

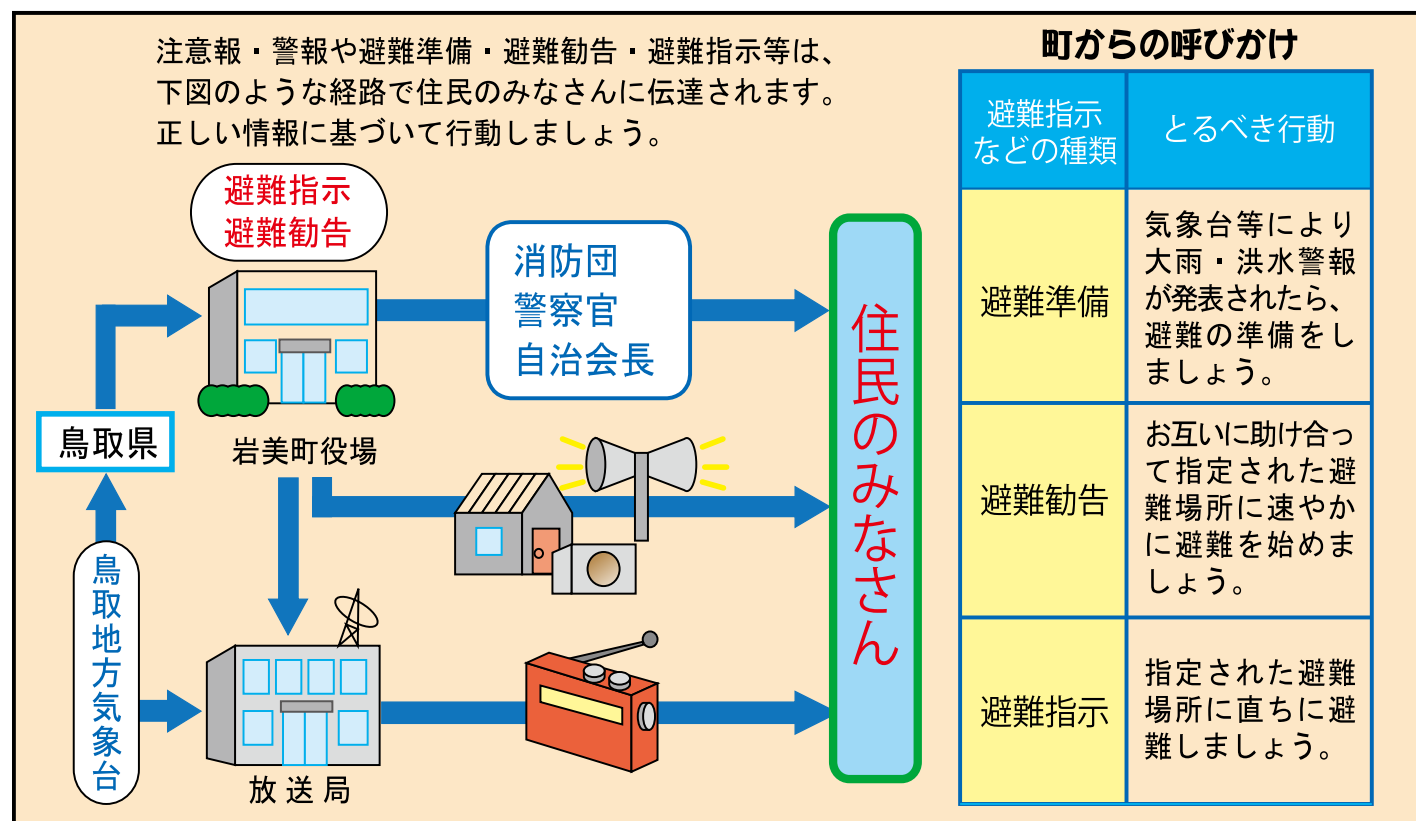


●家の内と外をチェック



災害など緊急時の情報連絡・情報収集・通報先

●災害時の情報連絡経路



●災害時の情報収集先

方 法	電話番号・ラジオ・インターネット情報
電 話	気象情報を知りたい（鳥取地方気象台） 1 7 7 発生した火災の場所や状況を知りたい 2 1 - 0 1 1 9（火災テレホンガイド）
ラジオ	NHK第1 1 3 6 8 k H z NHK第2 1 1 2 5 k H z B S S山陰放送 1 4 3 1 k H z NHK FM 8 3 . 8 M H z FM山陰 7 8 . 8 M H z
インターネット	●鳥取地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/tottori/ ●鳥取県防災情報 http://tottori.bosai.info/ ●とっとりWebマップ（防災情報） http://www2.wagmap.jp/pref-tottori/top/select.asp?dtp=9 ●鳥取県河川監視カメラ提供システム http://tottori-kasen.info/ ●とっとり雪みちNavi http://www.infosakyu.ne.jp/sekisetu/ ●中国電力停電情報 http://www.teideninfo.energia.co.jp/ ●岩美町役場 http://www.iwami.gr.jp/

●住民のみなさんからの情報通報先

通報の内容	電 話 番 号
火事・救急の通報は（消防）	1 1 9
事件・事故の通報は（警察）	1 1 0
海上での事故の通報は（海上保安庁）	1 1 8
安否の確認は（N T T災害用伝言ダイヤルサービス）	1 7 1
停電等の問い合わせは（中国電力鳥取営業所）	0 1 2 0 - 1 8 1 - 2 1 0
災害発生のおそれがある異常現象の通報は（岩美町役場総務課）	0 8 5 7 - 7 3 - 1 4 1 1

●119番のかけ方

火事の場合	救急の場合
① 「火事です」と明確に伝える。 ② 発生場所（住所、番地、誰々方、目標物） ③ 何が燃えているか、煙だけなのか ④ 通報者の名前 ⑤ 今かけている電話番号 ※基本的に消防署員が聴き取りを行いますので、署員の質問に対してあてずっぽうに返答してください。	① 「救急です」と明確に伝える。 ② どんな事故か簡単に伝える。（病気、事故、けがなど） ③ 発生場所（住所、番地、誰々方、目標物） ④ 傷病者の人数、性別、年齢（わからない場合は、おおよその見当）を伝える。 ⑤ 傷病者の容体（意識、呼吸、脈の有無）（わかる範囲でよい） ⑥ 今かけている電話番号（公衆電話の場合は公衆番号 XXXX） ⑦ 通報者の名前 ※次の場合は救急車のほか救助隊の出動が必要となるので要請時にお知らせください。 ⑧ 交通事故等で人が車に挟まれ、運転手や同乗者が自力で脱出できない場合 ⑨ 高い所や低い所で救出ができない場合 ⑩ 酸欠やガス中毒事故現場などで危険な状況下に傷病者がいる場合 ※ 救急車が他の事件で出動していて、救急車の到着に時間を要する場合は、先にポンプ車が出動することがあります。

●N T T災害用伝言ダイヤルサービス「171」の利用方法

録音方法	再生方法
① 「171」にダイヤルする ② ガイダンスに従って「1」を押す ③ ガイダンスに従って、被災地の電話番号を市外局番からダイヤルする ④ ガイダンスに従って、メッセージを録音します。	① 「171」にダイヤルする ② ガイダンスに従って「2」を押す ③ ガイダンスに従って、被災地の電話番号を市外局番からダイヤルする ④ ガイダンスに従って、メッセージを再生します。

●携帯・P H S版災害用伝言板

災害時に携帯電話・P H S各社のパケット通信サービスを利用して災害用伝言板に伝言を登録・閲覧できるサービスです。サービスの詳細は以下のホームページでご確認ください。

会社名	アドレス
N T Tドコモ	http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html
a u	http://www.au.kddi.com/notice/dengon/index.html
ソフトバンクモバイル	http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/
ワイモバイル	http://www.ymobile.jp/service/dengon/

風水害に備えて！

台風・大雨情報を聞いたら早めに準備

台風や大雨情報が出たら早めに安全対策が必すです。

- ラジオ、テレビなどの気象情報、町の防災無線などの情報にくれぐれも注意。
- 外出先から早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合い、非常時に備える。
- 危険な土地ではいつでも避難できる準備を。
- 停電に備え、懐中電灯、トランジスタラジオを用意を。
- 飲料水、食料の確保
- 非常持ち出し品の準備

家の周りの危険サインを逃すな

風水害から身を守るためには日頃から家の周りの様子に目を配っておくことが大切です。危険な箇所は修理、補強をしましょう。

- ゆるんだスレート、屋根瓦、雨どいの点検。
- 水路の整備、掃除。
- がけの上の太木を切り、不安定な岩を取り除く。
- 石垣などのひび割れは修理、補強。
- がけはビニール等で覆い、雨の浸透を防止。

洪水からの避難のポイント

- 履き物に注意
運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です。
- 足下に注意
水の中には何があるかわからないので、杖などを使って安全を確認しながら進みましょう。
- 歩ける深さに注意
歩ける（浸水の）深さはひざの高さくらいまでです。水が腰までであると疲労しやすく、また流速がある場合には20cmくらいの水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人、小さな子どもを優先する。
お年寄りや身体の不自由な人は、背負うなどして一緒に避難しましょう。はぐれないようお互いの体にロープを結んでおくと、子ども連れでも安心できます。

土砂災害に備えて！

以下の前兆現象が起これたら早めに避難を！

がけ崩れ

- がけに割れ目が見える。
- がけから水が湧き出している。
- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから木の根が切れるなどの音がする。

土石流

- 山鳴りがする。
- 急に川の流が濁り流木が混ざっている。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 腐った土の臭いがする。

地滑り

- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。
- 家や擁壁に亀裂が入る。
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く。

地震に備えて！

◆もしも・・・のときの安全対策10ヶ条

あなたの行動で被害を最小限にとどめることもできます。次にあげる10ヶ条だけはしっかりと覚えてください。

① まず我が身を守れ！

丈夫なテーブルや机などの下に潜り、布団などで頭を保護する。

② すばやく火の始末！

「火を消せ！」とみんなで声を掛け合い、暖房器具、調理器具等の火を確実に消す。

③ 出口を確保！

窓や戸を開けて出口を確保。特に鉄筋コンクリートの建物内では、歪んで開かなくなることもあるので、すばやく行動を。

④ 火が出たら初期消火！

「火事だ！」と大声で叫び、隣近所にも消火の協力を求める。天井に燃え移る前なら初期消火も可能。

⑤ あわてて外へ出ない！

瓦やガラスなどの落下物、ブロック塀等の倒壊で危険！子どもや高齢者の手を引き、落ち着いて行動を。

⑥ 狭い路地・ブロック塀・がけや川へりに近寄らない！

ブロック塀や門柱、自動販売機等は倒れてくる危険性大。がけや川へりも崩れやすいので注意。

⑦ 山崩れ・がけ崩れに注意！

ラジオやテレビで情報を入手し、山陰や急傾斜地域では特に注意する。

⑧ 避難は徒歩で、荷物は最小限に！

指定された避難場所へ歩いて避難をなるべく集団で。荷物は最小限に。車・バイクは厳禁！

⑨ 「応急救護」！

みんなで助け合ってケガ人の手当を。お年寄りや体の不自由な人を助けよう。

⑩ 正しい情報入手を！

うわさやデマに振り回されな。ラジオやテレビ、町からの正しい情報入手する。

自主防災組織について

自主防災組織が期待どおりに活動できるかどうかは、すべて一人ひとりの防災意識にかかっています。

そのためには、普段からの防災に対する正しい知識が必要になります。

平常時の活動

- 防災知識の普及
- 地域内の防災環境の確認
- 家庭の安全点検
- 防災用資機材の点検整備
- 防災訓練の実施

災害時の活動

- 情報収集、伝達
- 消火活動
- 避難誘導
- 救出・救援、搬送
- 食料の確保 など

津波に備えて！

- 地震の揺れを感じたら津波に注意！
- テレビ・ラジオや町の広報で正しい情報を！
- 避難情報が出たらすぐ避難！
- 津波は数時間に渡って何度も押し寄せます！
- 避難解除になるまで海辺や川べりには近づかない！

雪害に備えて！

- 屋根の雪下ろしを！
- 適切な雪の排除と路上駐車等のご遠慮を！